

わがチラ裏ブログより転載

<http://www.ma-2.com/blog1/>

ふちんかん

## 過去の原稿をHPにUPした

ホームページに過去の WOO の原稿を大量に UP した。

30年近く前の古い原稿もあり、若気の至りというか、気恥ずかしいものもある。今までこれらを晒すのを逡巡していたのだが、自分が生きてきた大部分を明らかにすることも大切かと思い、よほど変な部分や個人名に関する記載以外は原文のママ UP した。

過去の原稿には、コピーした写真を貼り付けたものも多く、その部分は PDF 化された OH!WOO!! をキャプチャして貼り付けた。

さすがに30年以上前、創刊当時のものは、OASIS というワープロで打っていたので、再現はできていない。いずれ PDF を OCR して復元してみようかとも思っている。

## 粗大ごみ一気捨て 20170503

5月3日をごみを捨てる日と決め、あらかじめクリーンセンターに持ち込み予約をしていた。10年ほど前にも行ったことがあるので2度目である。

今回は昔のページプリンタ・こたつ布団・寝袋などなど、大きなものや重いものなどをチョイスし、車のトランクと後ろの席がほぼ埋まるほど持ち込んだ。

指定の時刻に行き、まず車ごと計量。次に建物の2階部分へ車ごとスロープを上がり、そこで待ち構えている職員にどんどん引き渡すという流れである。積むときは1時間ほどかかった荷物が3分ほどで受け渡し終了。最後に再び計量して、料金精算である。ちなみに廃棄料は10kgにつき90円で、今回990円だったので、約110kgの荷物を捨てたことになる。

夕方からは、あらかじめ段ボールにセットしておいた廃パソコン部品を「パソコンファーム」へ発送。ヤマト便で120サイズと160サイズ、こちらもかなりの重さのブツが家から消えたはずで、気分的にかなりスッキリした。

## 扉の壁紙貼り替え 20170506

今のマンションに移り住んでまもなく16年。月日の経過とともにあちこちに傷みが出ている。顕著なのは、収納の扉に貼られている壁紙である。もともとMDFの板材に白板目風の壁紙が貼ってあったのだが、浮いてきたり端から剥がれたりしていた。

この連休を使って、まず壁紙を剥がし、中華サイトで売られていた大きなデコシールを上娘と一緒に貼ってみた。総額1000円不足・約1時間のリフォームであった。

玄関左の収納。  
街灯のシールは  
高さが1mほどある。



玄関正面のギャラリー下。  
白い岩山のような、川のようにも見える部分は、以前貼り替えた壁紙の残りである。



## Zenfone zoom 20170422

カメラ機能に重点を置いたスマホ ASUS Zenfone zoom を購入。

光学3倍ズームレンズ内蔵のスマホである。大きいし重いがデジカメとの二台持ちよりは良いかと思う。

カメラ機能を使って感じたことは、当然ながら光学ズームによる描画がなかなか良いということだ。コンパクトデジカメに匹敵する能力はある。一方でシャッタータイムラグがあり、それも状況によって異なるようで、慣れるまでに時間がかかりそうだ。

シャッターボタン専用のボタンがある(左写真左端) ほか、ボリュームボタンがズーム機能に使えるため、一般的な撮影はとてもスムーズである。ただ私が頻繁に使う明るさの補正が物理ボタンにないのは不便である。



なおケースには滑り止めシートを貼るなど小細工をしてカメラ風になっている。

### 日中の撮影

明るい状況では、なかなか良い描写をしてくれる。



### 室内撮影 望遠側

望遠側を使うことでひずみの少ない画像が得られる。ブツ撮りに適していると言える。



### 室内撮影 広角側



### 室内撮影 マクロ(ピントマニュアルで最短5cm)



### 特殊撮影 パノラマとミニチュア



## カメラとケータイの持ち方を悩む…

4月下旬から使い始めた ZenfoneZoom、カメラ機能に特化しているだけに写りはそこそこ満足できるし、撮影端末=通信端末なので、そのままクラウドに上げたり LINE などへすぐ送信できるなど便利である。一方で、重い・かさばる・速射性に劣るなどどうしようもない部分もやはり目につく。特にこれから薄着になると持ち運びがネックとなってくる。

5月のWOOの京都取材では、このスマホは帯同せず、昨年購入した超小型スマホと薄型デジカメという組み合わせで挑んでみた。電話をかける機会とクラウドにその場を上げるような機会は無いことが予測できたからである。また地図などのネット情報はiPadminiを持っていくことで対応することにした。

結果としては「良かった」。ちょこまかとメモを取るようなことが多い取材だけに小さく薄いデジカメは便利であった。

	<p>上から                  Panasonic DMC-G6 (レンズ交換式)                  Olumpus XZ-1 (高性能コンデジ)                  Casio EX-S12 (薄型コンデジ)</p> <p>DMC-G6は、撮影が主目的の時や家族旅行の際に使う                  XZ-1は、家の中や近所での普段使いに最も使用している                  EX-S12は、今回ライトな撮影に役立った</p>
---	--

	<p>左上 Covia POP(4inch)                  右上 Zuk Z2 (5inch)                  左下 Elephon Q(2.4inch)                  右下 Asus ZenfoneZoom(5.5inch)</p> <p>Covia POPは、日本のメーカーで程よいサイズなのだが、性能が低く少々残念な機種。                  Zuk Z2は、Lenovoの中国激安ブランド製品で、性能怪獣と呼ばれ高スペック低価格。                  Elephon Qは、とにかく小さい。いつとき腕に付けてたこともあるほど、小さく軽い。でも3Gで超低性能でバッテリーが持たないなど欠点も多い。                  Asus ZenfoneZoomは、前述のようにカメラが薄型コンデジと同等程度の性能があり、便利なのだが、大きく重い。</p>
--	---

当面、今回のように用途に応じて使い分けていくことになるだろう。しかし面倒なのが、連携しているスマートウォッチをいちいちリセットしないといけないうことと、LINEを使う場合はそれまでのトーク画面が消えてしまうことだ。